

外国語科(英語)

指導計画の作成上の配慮事項は何か。

- 1 各学校においては、生徒や地域の実態に応じて、学年ごとの目標を適切に定め、3学年間を通して英語の目標の実現を図るようにすること。



- ・ 第1学年においては、特に、小学校における外国語活動の内容や指導の実態等を十分に踏まえること
- ・ 生徒の学習段階、興味や関心等の実態を踏まえること
- ・ 外国語学習にかかわる地域の環境や実態等を踏まえること



特に、第1学年においては、実際に入学してくる生徒が在籍していた小学校において、どのような単語や表現を用いた活動が行われているかを把握することが求められる。

- 2 2の(3)の言語材料については、学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すること。



- ・ 学習の基礎の段階では、単純な構造の文を取り上げ、学習が進むにつれて、複雑な構造の文を主として取り上げるようにする。
- ・ 生徒の学習負担や学習の進展状況を考慮し、必要に応じて平易なものを再学習してから難しいものに取り組むなどの配慮も必要である。

- 3 音声指導に当たっては、日本語との違いに留意しながら、発音練習などを通して2の(3)のアに示された言語材料を継続して指導すること。

また、音声指導の補助として、必要に応じて発音表記を用いて指導することもできること。



音声の指導については、実際に英語の発声や正しい発音の仕方を理解させ、十分に練習をさせる必要がある。その際、特に日本語との違いに留意し正しい英語の音声に身に付くように指導していく必要がある。また、視聴覚機器を活用したり、ネイティブ・スピーカーの協力を得たりなどしながら、継続的な指導をしていくことが大切である。

発音表記については、特に指導する表記方法や学年に指定はないが、あくまでも音声指導の補助として利用することを念頭に置く必要がある。発音表記は、生徒にとって実際の音声を学習する橋渡しの役割をつとめ、また、自学自習へとつながる利点はあるが、発音表記そのものの詳細な指導に偏りすぎて生徒の過度の負担にならないよう配慮する必要がある。

- 4 文字指導に当たっては、生徒の学習負担に配慮し筆記体を指導することもできること。



文字指導についてはアルファベットの活字体の大文字及び小文字の指導を基本とし、必要に応じて筆記体を指導してもよい。



筆記体を指導することは、文字に対する興味付けともなり、有益であると考えられるが、生徒の学習負担を十分考えて指導に当たることが大切である。

- 5 語、連語及び慣用表現については、運用度の高いものを用い、活用することを通して定着を図るようにすること。

「運用度の高いもの」とは

※ 「言語活動の取扱い」に示された〔言語の使用場面の例〕や〔言語の働きの例〕として挙げられている場面や働きにおいてよく使われる身近な語や連語及び慣用表現のことである。

「運用度の高いものを用い」としたのは

※ コミュニケーション能力の基礎を養うとともに、活用することを通して定着を図るためには、運用度の高いものについて、繰り返し言語活動を行うことが効果的であるから。

6 辞書の使い方に慣れ、活用できるようにすること。

※ 辞書の使い方に慣れさせるためには、生徒が適宜辞書を繰り返し使用し、調べたい単語を辞書を使って自由に調べるということを普段から行わせる必要がある。

なお、辞書指導に関しては、3学年間を通して適宜辞書を活用させることが大切である。

7 生徒の実態や教材の内容などに応じて、コンピュータや情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用したり、ネイティブ・スピーカーなどの協力を得たりなどすること。

また、ペアワーク、グループワークなどの学習形態を適宜工夫すること。



コンピュータや情報通信ネットワークを使うことによって、教材に関する資料や情報を入手したり、電子メールによって情報を英語で発信したりすることもできる。

「ネイティブ・スピーカーなど」とは、ALTの他に、地域に住む外国人、外国からの訪問者や留学生、外国生活の経験者、海外の事情に詳しい人々など幅広い人々が考えられ、これらの人々の協力を得ることにより活発な言語活動や国際理解教育の推進を図ることが考えられる。

学習形態の工夫としては、ペアワークやグループワークが挙げられているが、生徒一人一人の活動が行いやすいという利点を生かして、これらの形態を適宜取り入れながら、効果的な授業が展開できるようにする必要がある。

※ 外国語科においては，英語を履修させることを原則とする。

※ 第１章総則の第１の２及び第３章道德の第１に示す道德教育の目標に基づき，道德の時間などとの関連を考慮しながら，第３章道德の第２に示す内容について，外国語科の特質に応じて適切な指導をすること。